

平成26年12月1日

発行 六ツ美悠紀齋田100周年記念事業実行委員会  
中部分科会 広報担当

## 齋田特集

### 1はじめに

平成27年6月7日(日)に行う「六ツ美悠紀齋田お田植えまつり」は100周年となります。本号は悠紀齋田が六ツ美に決まった経緯などを写真で紹介しします。

大正天皇の即位の礼後に行われる大嘗祭(初めての新嘗祭)は、天皇一代一度限りの大祭で、大正4年11月14、15日に京都御所で挙行されました。

## 悠紀齋田

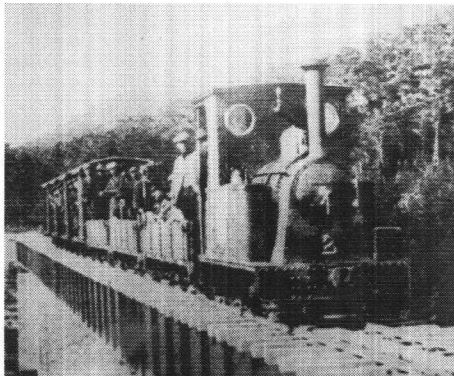
石原内務部長  
原口産業課長  
山崎県立農林学校長

### 2.齋田点定の儀 献上する米を作る齋田を決める

大正3年2月5日宮中神殿において行われ、愛知県と香川県が選ばれた。

愛知県では、県内11郡の候補地の中から6箇所絞り、さらに3箇所絞った。その3箇所を上記の3名が現地を視察し農商務省と協議の結果大正3年3月5日に、六ツ美が選ばれた決定の通知が来た。

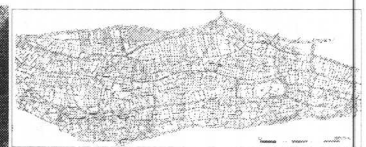
### 悠紀齋田に選定された大きな要件



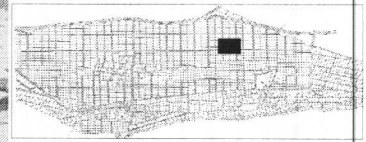
西尾軽便鉄道(明治44年開通)



高橋用水取入れ(明治15年着工)

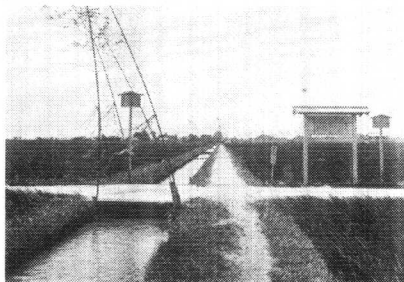


耕地整理前



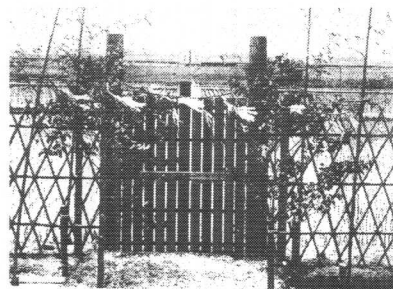
耕地整理後(明治37年竣工)

### 齋田の準備

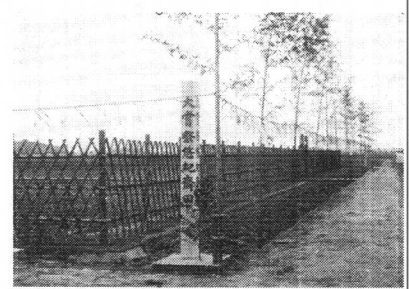


高橋用水の整備

りょうあん



正門

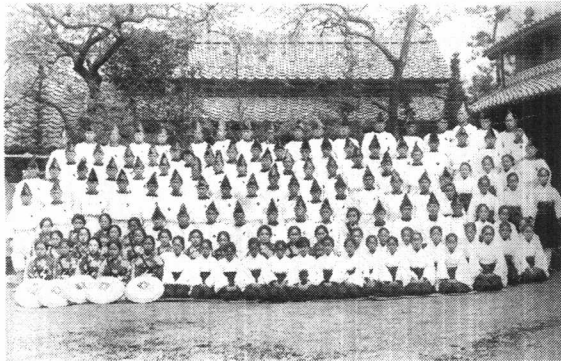


標柱

3.諒闇中 (天皇・皇后・皇太后が亡くなられた時、国民が1年間喪に服して、即位の礼も延期しました)  
大正3年4月11日 昭憲皇太后崩御され喪に服することになった⇒悠紀齋田の諸行事は1年延期

#### 4.奉耕者の人選

資産、教育、素行、技能、家庭、経歴、健康などの審査項目を定め、122名が選ばれた



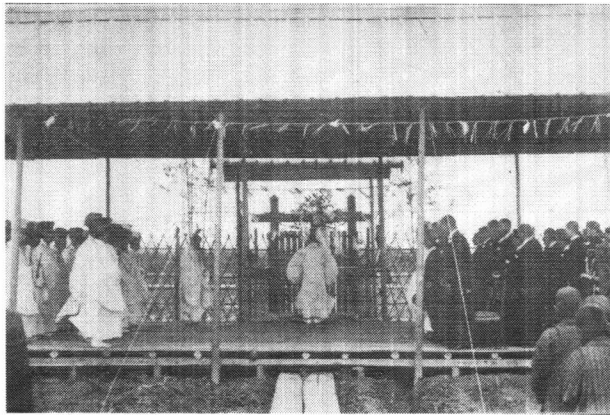
奉耕者の記念写真

碧海郡の各町村から選出され、六ツ美から62名(男33名女29名)



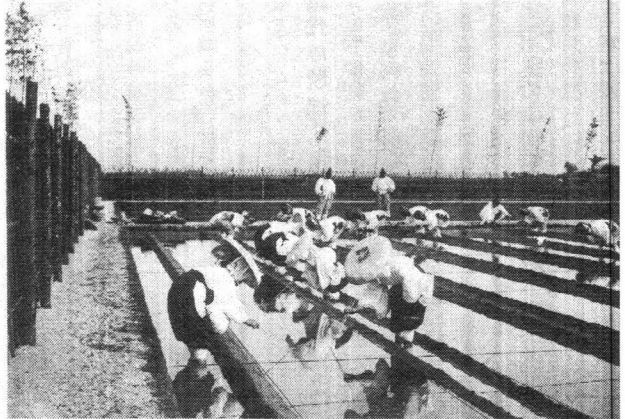
奉耕者の衣装

#### 5.祓い式(諸儀式の最初に行う式)



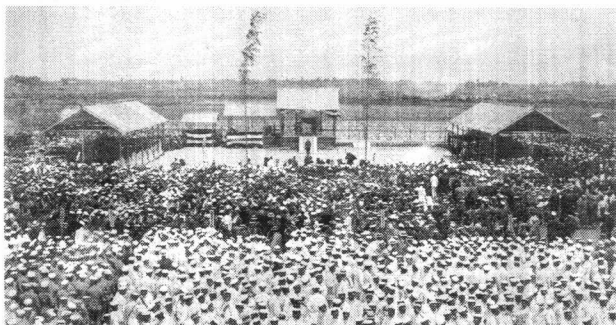
大正4年4月22日

#### 6.播種式



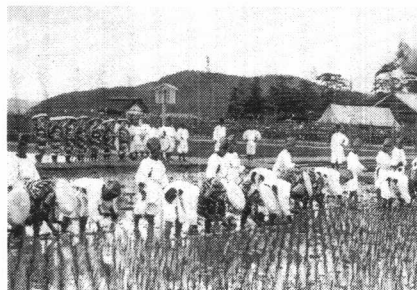
播種式を終え種まきをする奉耕者  
大正4年4月23日

#### 7.田植え式 '大正4年6月5日

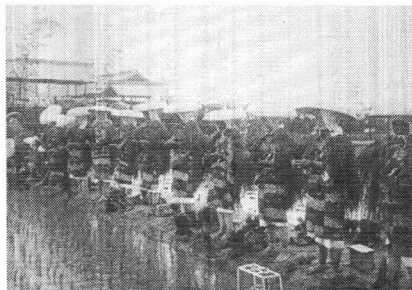


神職30名  
式参列者700名  
参観者 70,000人

参観者のために東海道本線の臨時便  
名古屋-岡崎3便、豊橋-岡崎2便  
西尾轻便鉄道大增発



田植え 大正4年6月5日~7日

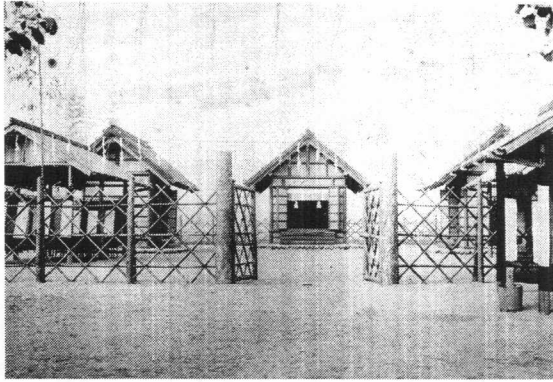


大正4年6月6日 は雨天



田植え踊り 大正4年6月5日~7日

## 8. 抜穂式斎場地鎮祭



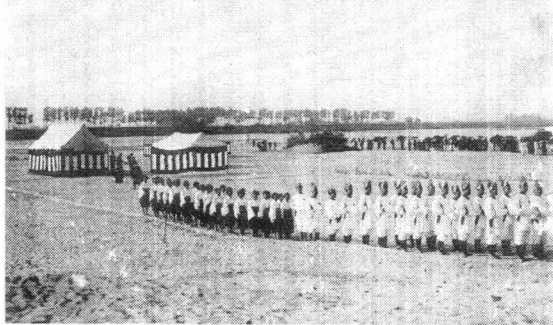
### 地鎮祭

- (1) 大正4年8月15日 場所 悠紀斎田の西隣の斎場予定地
- (2) 新しい土が60.6cm 盛られ、矢作川から運んだ白砂を敷き詰めた

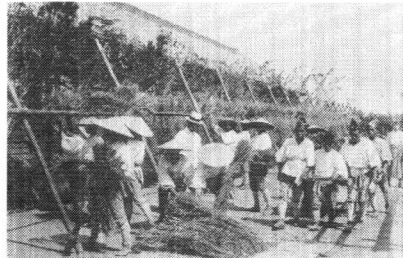
### 斎場

- (3) 茅葺きの神殿、神饌殿、稲實殿(いなのみどの)を斎場に建てた(写真)

## 9. 一日大祓ノ儀 大正4年9月19日 大聖寺河原 10. 抜穂式 大正4年9月20日



稲刈 大正4年9月25日、26日



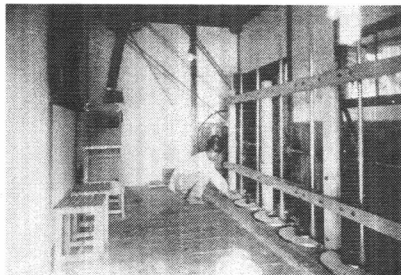
はざ掛け 大正4年9月25日、26日



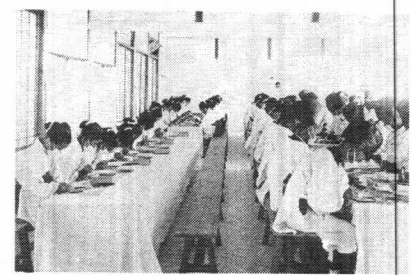
脱穀(千歯扱き) 大正4年9月29日



粳摺り 大正4年10月3日



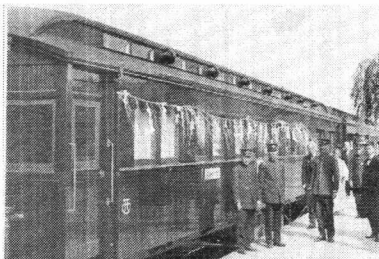
米搗き 大正4年10月3日~5日



選別(ピンセットで一粒づつ)



安城の郡役場へ 大正4年10月15日 供納米運搬臨時列車



京都御所に到着 大正4年10月16日

# 主基齋田

主基齋田は現在の香川県綾歌郡綾川町で行われました。

主基齋田の主な儀式

祓い式 大正4年4月7日

齋田地鎮祭 大正4年8月15日

齋田拔穂式 大正4年9月18日

田植え式 大正4年5月27日 参観者は約8万人

大祓い式 大正4年9月17日

新穀の供納 大正4年10月15日



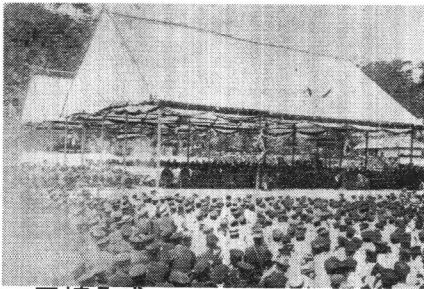
耕牛(千代号)



田ならし(千代号)



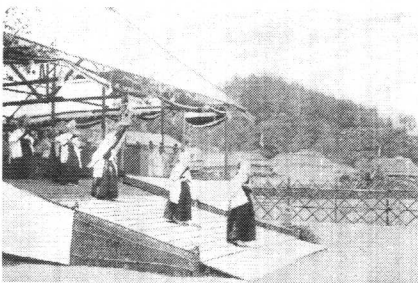
早乙女



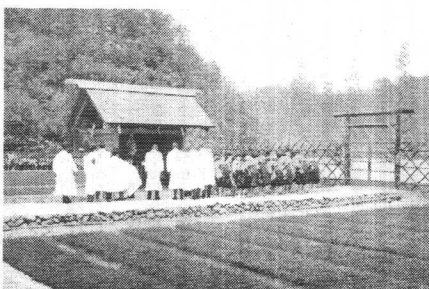
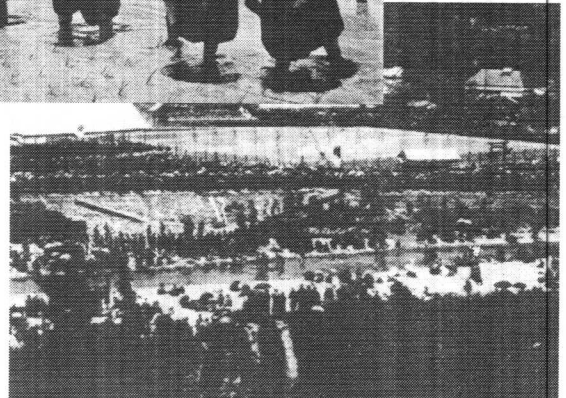
田植え式



田植え



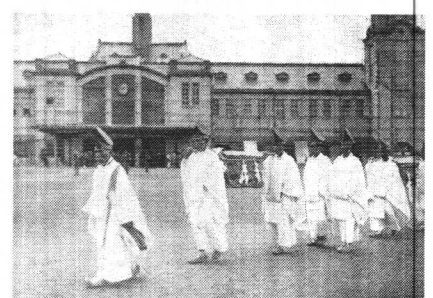
田植え式



田植え式



拔穂式勅使退下



供納米京都着